

2009年4月21日

各位

三井化学株式会社  
社長 藤吉 建二

2008年度業績予想の修正にあたって

世界的な景気後退の影響を受けて08年度の決算は、営業利益 460億円の赤字に加え、繰延税金資産の取崩しによる制度上のマイナスも加わり、950億円という、これまで経験したことのない大幅赤字の最終損益を計上する見込みになりました。

係る状況下、1月から緊急対策チームを立ち上げ、役員・管理職の報酬減額、経費の徹底した削減、ゼロベースからの投資案件の見直し、在庫の大幅削減を基本とする緊急対策を実施しております。

加えて、現在、環境急変に対応した事業戦略見直しによる事業構造改革、全社人員計画の見直しを含めた労務コスト構造改革、さらに販売力・現場力の再強化策等を検討しています。厳しい環境は今後も続くことを前提に、09年度後半には収益回復軌道に乗せ、10年度は黒字必達を目標とした更なる緊急対策を急いでおり、5月12日に発表する予定です。

この極めて厳しい現状に対し、全社員で対策に取り組み、全社一丸となってこの難局を乗り切る所存です。

以上